

## 1 カブトガニに関する事業

実施事業	カブトガニ保護活動事業（生涯学習課）
総事業費	968,522 円
ふるさと納税充当額	968,522 円

カブトガニ博物館では、カブトガニの保護のため、市民とともに、保護啓発運動等を行い、広く周知を行うとともに、保護監視員を任命し、定期的に海岸のパトロールを実施し、繁殖地内に入浜している方に、保護の大切さを伝え、浜から退去していただいています。

また、漁業協同組合の協力を得て、漁師の網にかかったカブトガニを保護し、一定期間観察をおこなった後、海に放流しています。そして、公募による参加者と一緒にカブトガニの幼生を海に放流しています。

令和3年度は82匹のカブトガニが野外調査で確認できています。

今後も、笠岡のカブトガニが繁殖地内で定着して、棲息数が回復するよう、保護と増殖の活動を続けて行きます。



幼生観察



保護啓発運動

実施事業	博物館運営事業（生涯学習課）
総事業費	29,137,258 円
ふるさと納税充当額	16,121,080 円

カブトガニ博物館を適切にかつ効率的に管理運営していくため、入館者の方からの意見やアンケート結果を反映させるように努めました。

企画展では夏の特別展「鎧につつまれたいきもの」展を開催し、カブトガニと同じく外骨格を持つ生物を集め、外骨格を鎧と形容し、ただ生き物を見るのではなく、新たな切り口で展示しました。

冬の特別陳列では、「惣路紀通化石コレクション」展として、前博物館長の収集品をお借りして展示しました。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響があり、8月末より約1か月臨時休館せざるを得なくなりました。各種行事、イベントなども中止となる中、入館者の方の安全を第一に考えて、アルコール消毒や検温、常時換気に加えて、多客時には館内で3密とならぬよう、入館人数の制限も導入しながら運営を行いました。

今後も、笠岡のカブトガニと国指定の天然記念物であるカブトガニ繁殖地を博物館を通して、広く普及させる取り組みを続けて行きます。



夏の特別展



特別陳列展

実施事業	博物館行事（生涯学習課）
総事業費	409,598 円
ふるさと納税充当額	409,598 円

新型コロナウイルス感染防止のため、予定していた行事の多くが中止となりましたが、アルコール消毒や検温、マスク着用をお願いをするなど、感染対策に最大限の注意を払いながら、規模を縮小して次の事業を実施しました。

今後もカブトガニ博物館らしい魅力的な体験ができるよう、行事を企画して参ります。

#### 主な行事

- ・特別展 7月17日～10月31日
- ・カブトガニ幼生放流 7月24日
- ・加藤英明先生講演会 8月17日
- ・大殿洲一周体験ツアー 8月20日
- ・特別陳列展 2月1日～3月31日
- ・ミュージムアムトーク 3月12, 20, 26日



幼生放流



加藤英明先生講演会

実施事業	博物館修繕事業（生涯学習課）
総事業費	2,824,800 円
ふるさと納税充当額	2,824,800 円

#### 1. 屋外展示恐竜模型修繕

恐竜公園の恐竜模型は、屋外展示のため、劣化しやすく、外部塗装・補修等を年次的に行っています。令和3年度では、恐竜公園の南に位置する、ディプロドクスの改修を行いました。設置当時の生き生きとした、恐竜模型がよみがえりつつあります。（恐竜模型7種8体）

#### 2. 排水ポンプ場通報装置設置

恐竜公園内には海につながる池があり、エラスモサウルス恐竜模型が設置され、景観の一部となっております。この池は同時に、近隣入江地区の雨水排水路ともなっており、水位上昇時には水門と自動式の排水ポンプによって、海水の流入を防いでいます。

このたび、管理に万全を期するため、大型台風や排水ポンプの故障などによる異常な水位上昇時に、関連職場や職員に直接電話連絡が入るように、自動通報装置を設置しました。



ディプロドクスの修繕作業